春日井市定例記者会見

資料３

犯罪と交通事故から命と暮らしを守る取り組み
～安全で安心して暮らすための防犯・交通安全事業の推進～

１　目　的

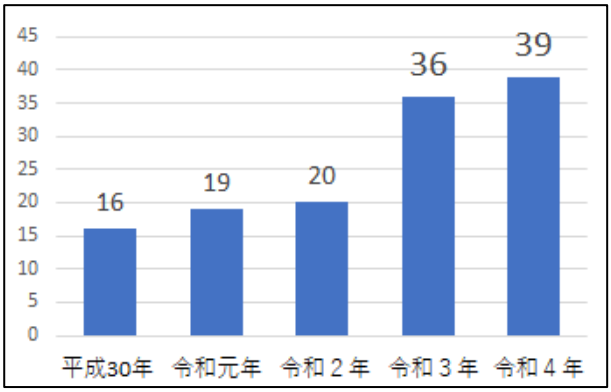
日常生活がコロナ禍以前に戻りつつある中、外出機会の増加により侵入盗をはじめとする刑法犯認知件数は増加傾向にあるとともに、特殊詐欺についても被害が継続しています。また自転車乗用中の事故件数についても、高い水準となっています。このような状況に歯止めをかけ、市民の皆様の命と暮らしを守るため、防犯・交通安全の取り組みを推進します。

２　本市の情勢

⑴　刑法犯認知件数

今年４か月の件数は、対前年比増である

⑵　特殊詐欺被害認知件数（過去５年）



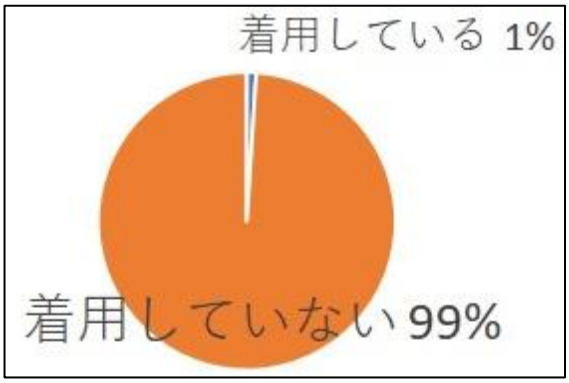
毎年増加傾向を示している

⑶　警察署別自転車乗用中死傷者数
（令和４年中　名古屋市内を除く）

1	一宮警察署	339人
2	春日井警察署	307人
3	江南警察署	262人
4	豊橋警察署	254人
5	豊田警察署	196人

県内でも高水準である

⑷　市内高校アンケート調査（令和３年度）



ヘルメット着用率は１％という結果

３　推進する事業【継続】

市民の皆様とともに安全で安心して暮らせるまちの実現に向け、次の補助事業等について、６月14日（水）開催の安全なまちづくり協議会総会での防犯講話を始め、機会を捉えて、周知を図り活用を促進します。

⑴　地域防犯組織支援事業

地域住民による自主的な防犯活動を推進するため、防犯パトロールを行う団体に対して、防犯パトロールに要する物品の購入費を補助します。

補助対象	・週に１回以上防犯パトロールを実施する区、町内会、自治会、ボランティア団体、PTA、老人クラブその他の団体が購入する防犯パトロールに要する物品の購入費の全額を１団体あたり１回限り補助 ・ジャンパー、帽子、腕章、たすき、警笛、マグネットステッカー、シール、青色回転灯、防犯ブザー、地図、カメラ、フィルム、筆記用具、懐中電灯、電池等
補助額	・上限額は世帯数によって50,000円から250,000円

⑵　通話録音装置配付事業

オレオレ詐欺をはじめとする特殊詐欺からの被害を防止するため、高齢者を対象に通話録音装置を配付します。

配付対象	・市内に住所を有する満65歳以上の方がいる世帯 ・通話録音装置の配付は１世帯につき１台まで ・納期限までに指定の金融機関で負担金2,000円を納入
受領方法	・通話録音装置配付決定通知書に記載された期間内に、総務部市民安全課の窓口で納入通知書の領収書のコピーと引き換えに受領

⑶　自転車用ヘルメット購入費補助

自転車を利用する児童生徒や高齢者等の自転車用ヘルメットの着用を促進し、自転車乗用中の事故による負傷の軽減を図るため、ヘルメットの購入費を補助します。

補助対象	・主な安全基準を満たした新品 ・春日井市内の販売店で購入したもの ※　令和５年３月１日から令和６年２月29日までに購入したもの
補助額	・ヘルメット購入費用の２分の１の額で、上限2,000円（10円未満の端数切捨て）

４　自転車用ヘルメット着用ＰＲ

本年４月から、自転車乗車時のヘルメット着用について、改正道路交通法で努力義務となったことに伴い、自転車利用が多い世代の高校生を対象に自転車用ヘルメットの着用を促進するため、市内県立高校において、市長自身が着用促進ＰＲを実施します。

⑴　日時　令和５年６月12日(月)　午後３時15分から

⑵　場所　県立春日井南高等学校　体育館

⑶　概要　市長から生徒へメッセージ「ヘルメット着用のススメ」
　　愛知県警「B－Force」による自転車の安全な乗り方講習
　　代表生徒への実技指導

問い合わせ　総務部市民安全課　TEL 0568-85-6064